

ＪＡ兵庫みらい 協同活動ハイライト

ＪＡ兵庫みらいは、「みらいの食と農を豊かに、地域とともに歩むＪＡ」をテーマとする第７次中期経営計画に取り組みました。

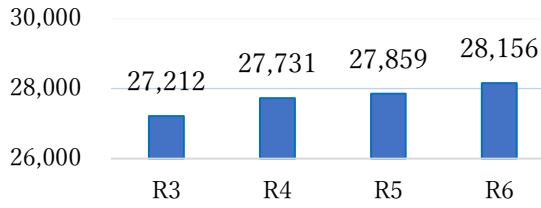
令和６年度の主な取り組み状況を紹介します。

○持続可能な農業の実現

取り組み	具体的な内容	取り組み状況															
農業者の経営安定と収益力強化	地域農産物の産地振興	水稲・黒大豆・小麦・アスパラガスの４品目を主要振興作物として位置付け、高品質・高収量に向けた栽培技術指導を実践し、農業者の所得向上と産地振興に取り組みました。 令和６年度作付面積 <table><tr><th></th><th>計画</th><th>実績</th></tr><tr><td>水 稲</td><td>4,500ha</td><td>4,517ha</td></tr><tr><td>黒大豆</td><td>110ha</td><td>90ha</td></tr><tr><td>小 麦</td><td>335ha</td><td>343ha</td></tr><tr><td>アスパラガス</td><td>1.4ha</td><td>1.2ha</td></tr></table>		計画	実績	水 稲	4,500ha	4,517ha	黒大豆	110ha	90ha	小 麦	335ha	343ha	アスパラガス	1.4ha	1.2ha
	計画	実績															
水 稲	4,500ha	4,517ha															
黒大豆	110ha	90ha															
小 麦	335ha	343ha															
アスパラガス	1.4ha	1.2ha															
地域の活性化	魅力ある店舗（直売所）づくり	消費者モニター会を開催し、消費者の意見を取り入れた店舗づくりに取り組みました。また、消費者と生産者の交流を促進するために対面販売を実施しました。 「消費者モニター会」 <table><tr><td>春開催（３地区合計）</td><td>８名</td></tr><tr><td>夏秋開催（３地区合計）</td><td>７名</td></tr></table> 野菜栽培講習会「ぐれっぷ」を開催し、直売所出荷会員の拡大に取り組みました。 <table><tr><td>新規出荷会員数（３地区合計）</td><td>４４名</td></tr></table>	春開催（３地区合計）	８名	夏秋開催（３地区合計）	７名	新規出荷会員数（３地区合計）	４４名									
春開催（３地区合計）	８名																
夏秋開催（３地区合計）	７名																
新規出荷会員数（３地区合計）	４４名																
地域に根ざしたＪＡ	担い手・後継者育成に向けた取り組み	ＪＡ実践型研修ハウスを活用し、新規作物「ＢＫシードレス」（ぶどう）の普及に向けた実証を開始しました。  															

○豊かな地域社会の実現

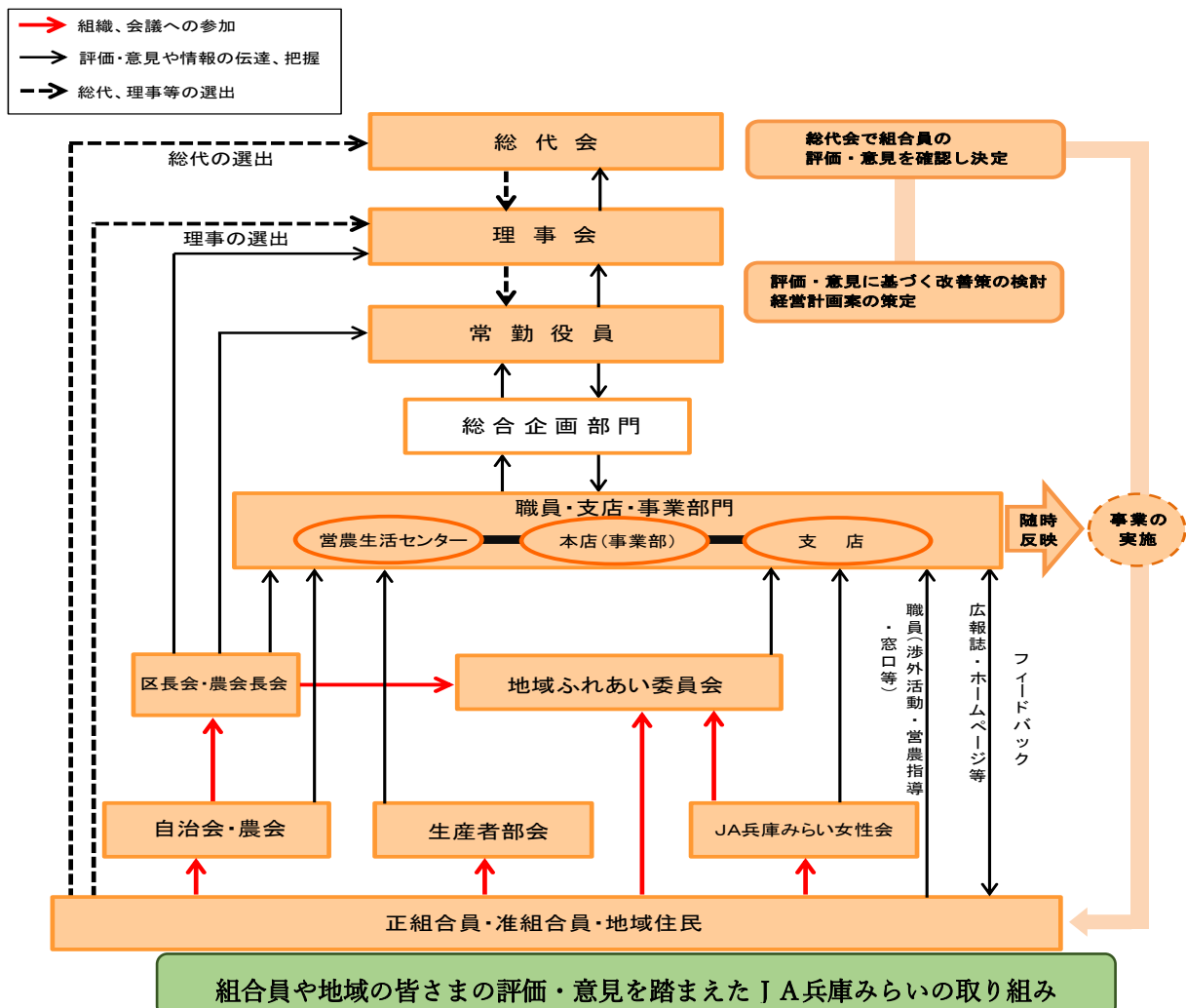
取り組み	具体的な内容	取り組み状況										
総合事業を通じたサービスの提供	地域に根ざし、地域に求められる総合事業の展開	各地域の小学校等に出向き、「出前授業」を開催し、農業の楽しさを伝え、未来の担い手育成に向けて取り組みました。 ●バケツ苗 ●田植え ●黒大豆種まき ●稲刈り										
組合員のメンバーシップの強化	組合員や地域住民の声を J A 運営へ	地域ふれあい委員会、各事業所等に寄せられた組合員や地域の皆さまの評価・意見・要望を J A 全体で共有し、事業に反映できるように取り組みました。 ●皆さまからいただいたご意見やご要望は、広報誌（6月号）に「J A の考え方」として掲載しました。 ● J A 組織基盤強化（組合員とのつながり強化）を目的に、常勤役員が各地域の担い手農家、営農組合組織等への戸別訪問に取り組み、農業経営上の課題等について意見を取り交わしました。										
魅力ある協同活動の展開	次世代に向けた地域貢献活動の実践	活動内容を工夫し、組合員や地域住民に選ばれる J A をめざし「J A ファンづくり活動」に取り組みました。 <table><tr><td>J A ファンづくり活動実施数 （全店舗合計）</td><td>70 回</td></tr></table> 「親子農業体験」を開催し、次世代への絆づくりや食と農にかかる活動に取り組みました。 「みらいキッズ親子農業体験」 <table><tr><td>実施月</td><td>実施内容</td></tr><tr><td>7 月</td><td>じゃがいも収穫</td></tr></table> 「認定こども園向け収穫体験」 <table><tr><td>実施月</td><td>実施内容</td></tr><tr><td>10 月</td><td>枝豆収穫</td></tr></table>	J A ファンづくり活動実施数 （全店舗合計）	70 回	実施月	実施内容	7 月	じゃがいも収穫	実施月	実施内容	10 月	枝豆収穫
J A ファンづくり活動実施数 （全店舗合計）	70 回											
実施月	実施内容											
7 月	じゃがいも収穫											
実施月	実施内容											
10 月	枝豆収穫											

取り組み	具体的な内容	取り組み状況										
J Aの組織基盤強化へ向けた次世代組合員の確保	次世代組合員の加入促進への取り組み	支店・営農生活センターを拠点としたJ Aファンづくり活動等を通じて、組合員の増加に取り組みました。 組合員数(単位：人、法人、団体) <table><thead><tr><th>年度</th><th>組合員数</th></tr></thead><tbody><tr><td>R3</td><td>27,212</td></tr><tr><td>R4</td><td>27,731</td></tr><tr><td>R5</td><td>27,859</td></tr><tr><td>R6</td><td>28,156</td></tr></tbody></table>	年度	組合員数	R3	27,212	R4	27,731	R5	27,859	R6	28,156
年度	組合員数											
R3	27,212											
R4	27,731											
R5	27,859											
R6	28,156											

○健全な経営基盤の確立と人づくりの実現

取り組み	具体的な内容	取り組み状況
環境の変化に迅速に対応できる人材育成	営農経済事業の意識付け強化	新採用職員に向けて、農業協同組合の職員としてJ Aを理解するために、農業体験への参加をとおし、農業知識の取得および職員間のつながりづくりに取り組みました。   管内の生産者支援およびJ A職員自らの成長を促すため、(株)兵庫みらいアグリサポートが募集する農作業への副業制度を導入し実施しました。
健全な経営基盤の確立	コンプライアンス態勢の徹底 将来の見通しを踏まえた経営計画の策定・検証	コンプライアンス意識の向上を図るため、全部署でコンプライアンス研修を実施しました。 また、効果的な職員教育・研修を実現するため、インターネットを利用したeラーニング(オンライン研修)を導入しました。 持続可能な経営基盤を確立するため、中長期の収支シミュレーションに基づく経営計画の策定・検証に取り組みました。

組合員や地域の皆さまの声を J A の運営に反映する取り組み



Q1. 草刈りは農地の持ち主がおこなっているが、高齢により作業困難な方が急増しており、困っている。

(担い手農家からの意見)

A1. J A 兵庫みらいでは、職員に対して、(株)兵庫みらいアグリサポートが募集する農作業への副業制度を導入し、草刈り作業を実施しています。

また、除草剤を活用した省力化の具体例も紹介していますので、ぜひ活用いただければと思います。さらに、営農相談員や T A C が協力し、営農相談ができる体制を整えてまいります。

Q2. J A 兵庫みらい管内の直売所で店舗間交流を実現してほしい。

(担い手農家からの意見)

A2. 令和 7 年度より、店舗間交流を予定しています。

Q3. 直売所について、朝早くに行かないと野菜がすぐ売り切れてしまう。その後来店しても、新たに陳列していない。午後に向けた工夫がほしい。

(組合員や地域の皆さま、F M モニター会からの意見)

A3. 各直売所では、午後の品薄対策として、事前に午後から出荷可能な生産者と J A で L I N E グループを作成し、追加出荷の依頼を促しています。また、出荷がない品目については、J A 間の交流や市場仕入れなどで対応しています。今後は、J A 兵庫みらいの店舗間交流を通じて活性化を図り、販売強化に努めてまいります。

Q4. 米の単価を上げてほしい。J A の強みを生かしてほしい。

(担い手農家からの意見)

A4. 令和 6 年産米については、3 月の追加精算により、ヒノヒカリ 1 等 3 0 k g 1 0 , 5 0 0 円で精算をおこないました。令和 7 年産につきましても農家所得向上に向けて、J A グループ一丸となって取り組みます。